

育ネットつなん

津南町教育委員会

育ネットつなん事務局



平成30年の幕開けから早3週間。昨年、津南町に大きな感動と勇気を与えた津南中学校駅伝チームの大活躍は、12/17の全国大会でフィナーレを飾りました。ひたむきに努力を続けてきた監督、コーチ、選手の姿は、大人や中高生はもちろんのこと、小学生や園児にも大きな希望を与えたことと思います。

それでは、ご家族の皆様全員で第40号をご覧ください。

上村憲司町長からのメッセージ **その2**

前号に引き続き、上村憲司町長のメッセージをお届けします。

◇ **人前で話すことは大の苦手!!** (感動が努力の出発点!!)

37歳で県議会議員に立候補するまで、人前で話すことはなく、その時ですらマイクを持って演説しなくて良いという約束で仲間と始めた。議員になってからも話すことが苦手だった。全戸で2軒の上郷の日出山集落で、人もいないので初めて年賀回りをしたが、目の前のお宅に明かりがポツとついて、「明けましておばんでございます。」になってしまい、仲間に冷やかされた。

そこで、暇があれば寄席に行って落語を聞いた。落語家の方は、間(ま)のところまで聞かせている。同じ演題の落語でも名人が話すとは違う落語になる。日本の芸はすごい。

◇ **除雪のなかった時代は歩いて学校へ!!そして、除雪の始まりへ** (発想が生んだ物は?)

除雪のなかった子供時代、小学校1年生から学校へ雪道を歩いて通っていた。保育園もなく、給食もなく、中学校3年生頃にやっと除雪らしきものが始まった。今のような暖房もないわけだから、当時は寒かった……。

昭和38(サパチ)豪雪で、栃尾の絹織物を直江津港から海外に輸出するために必要な鉄道が止まり、国家財源に穴が空きそうになった際、雪の大変さを知らない当時の建設大臣の「雪をどければ良い。」という発言をきっかけに除雪が始まったと聞いている。

◇ **上村町長の父上様の言葉から** (今、改めて振り返ると良い言葉・・としみじみと締め括られました。)

★そこに座ったら10年は動くな。

★いいか、男の子は、取った銭は、良い物を着たいとか、良い家に住みたいとかということに遣うな。若いうちは、取った銭全部を自分の頭と腹の中にたたき込んでおけ。

★良い物を着ても泥棒に入られれば無くなる。いくら良い家に住んでも火事になれば無くなる。自分の腹と頭にたたき込んだ物は誰が来ても持って行かない。

腹の中とは、しっかり食べて健康になれ。

頭の中とは、若いうちでないと勉強は身につかないということ。

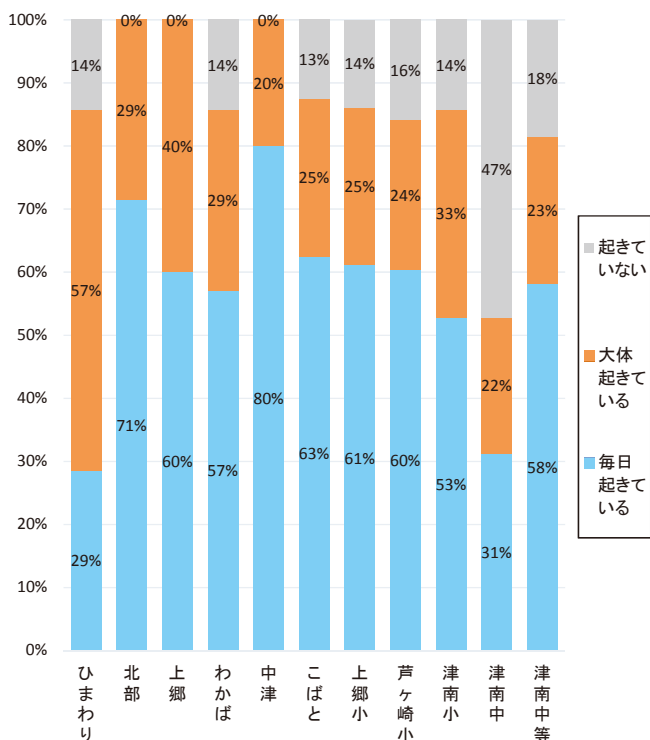
一番切ないことは、若い男の部屋に入って本が一冊もなかった時。世の中で一番むなししいことは若い女性の部屋に入って花の一輪もなかった時。



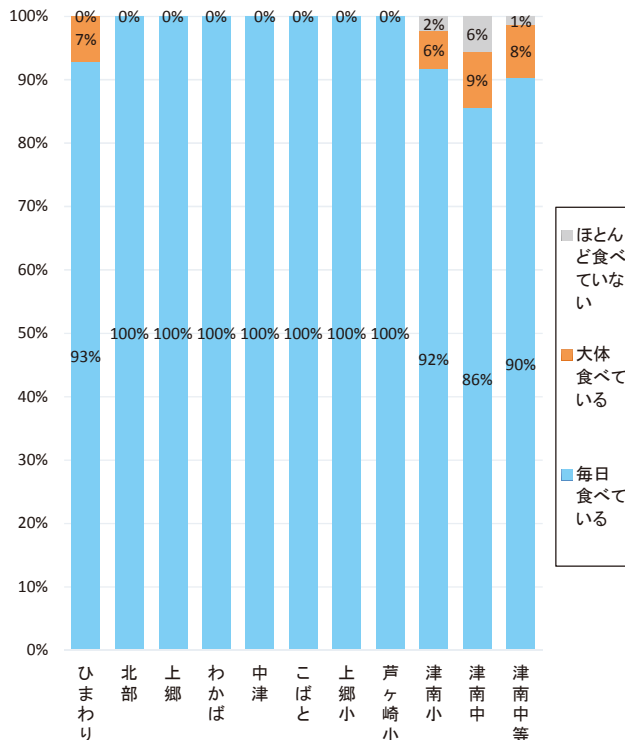
お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

今年度、育ネットつなぐ保護者部会では、保護者部会スローガン（親子でしっかり朝ごはん・親子でがんばるメディアコントロール・親子で交わす「おはよう」のあいさつ）を中心に、設問数を精選して実施しました。保護者アンケートの全回答数は、663、未提出数は144でした。小中学校、中等校は全学年、保育園は5歳児のみの結果です。なお、各園・校の子どもの人数が異なるため、1%分の人数も異なる点に注意してグラフをご覧ください。

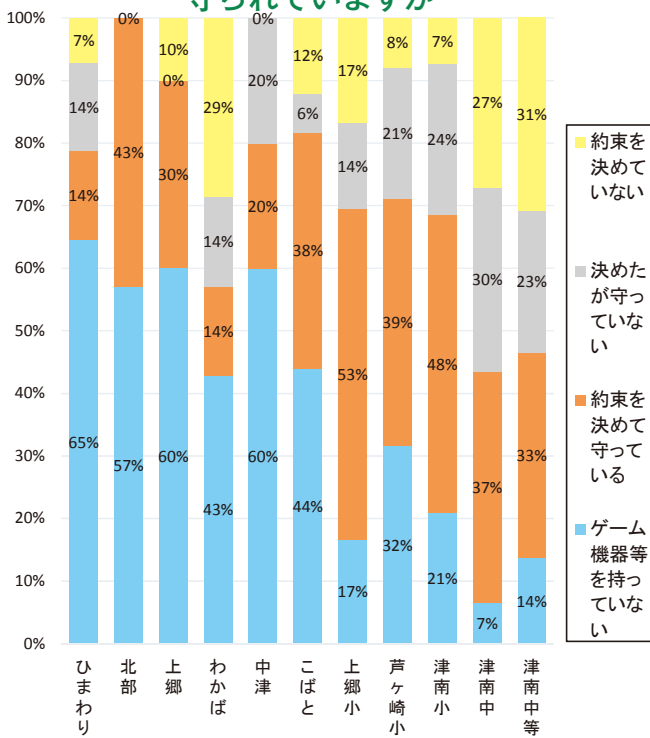
Q1：朝6:30までに起きていますか



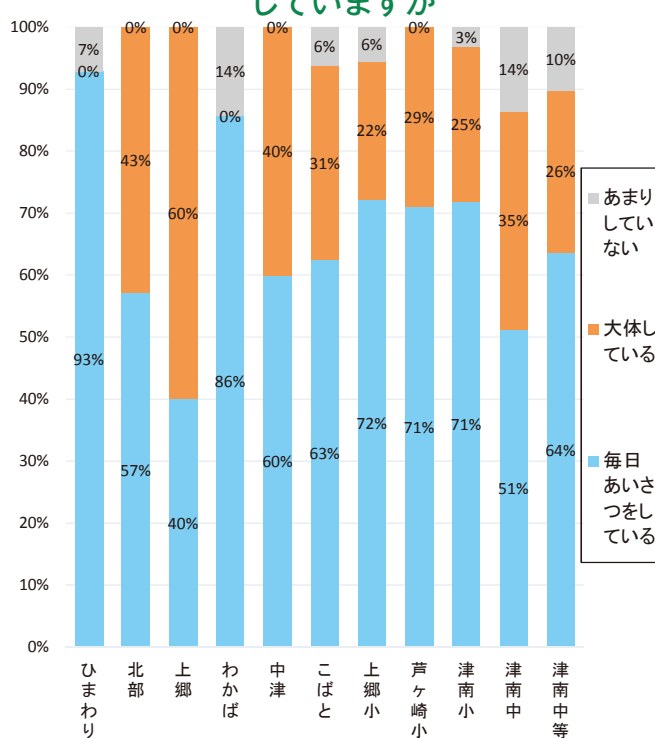
Q2：朝食を食べていますか



Q3：ゲーム機器等の約束を決めて守られていますか

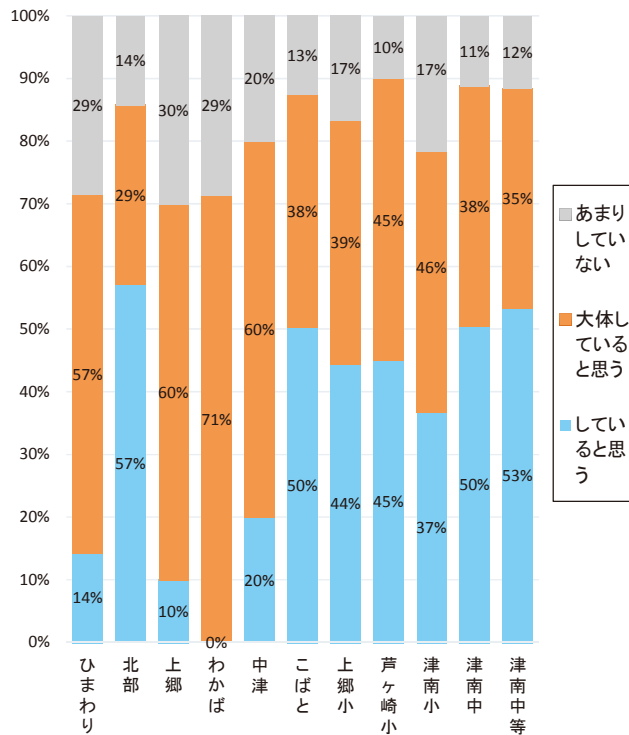


Q4：朝、家族であいさつをしていますか

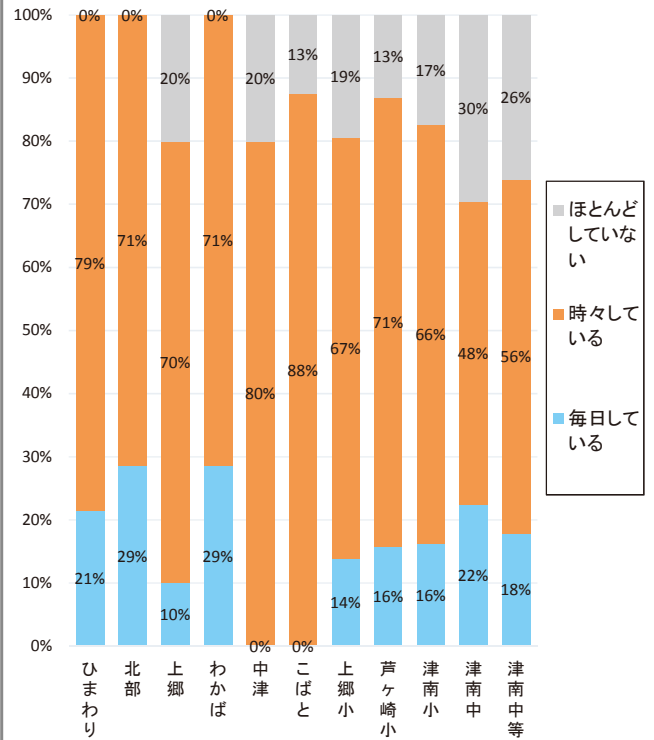


12月11日の保護者部会で、これらのグラフに表されたアンケート結果を中心に春からの取組について協議しました。保護者部会スローガンの朝ごはん・あいさつ、更には、お手伝いについては、高い評価でした。是非、継続願います。各保育園・小学校・中学校では早起きにも力を入れています。主な課題は、Q3のメディア使用対策でした。

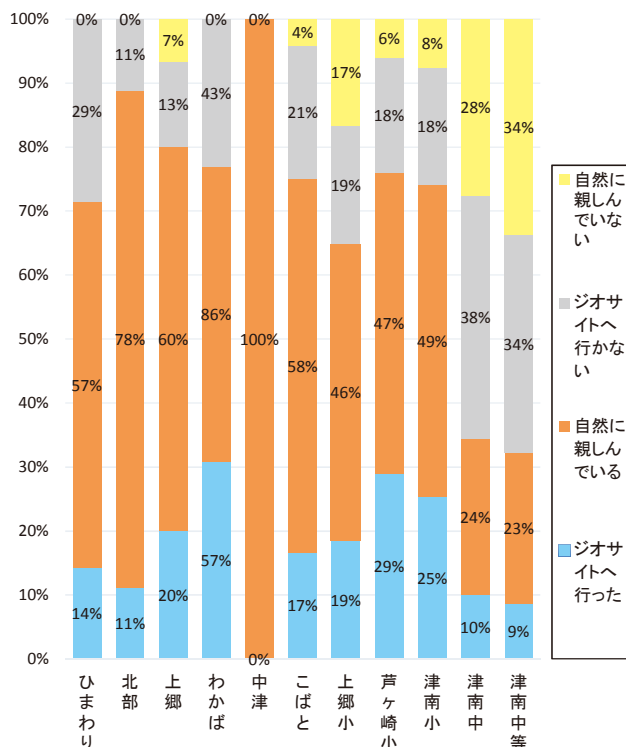
Q5：お子さんは近所の人にあいさつをしていますか



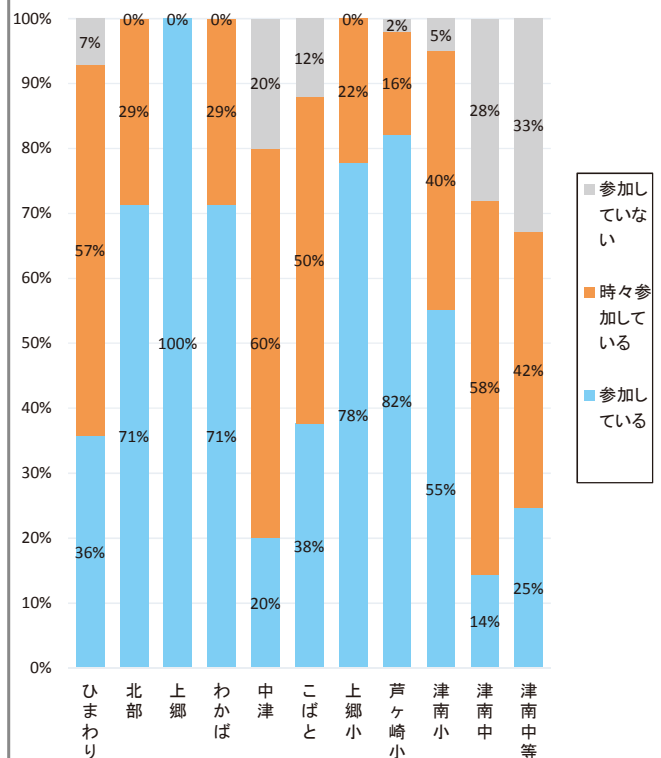
Q6：お子さんはお手伝いをしていますか



Q7：家族でジオサイトに行ったり身近な自然に親しんだりしていますか



Q8：お子さんは地域行事に参加していますか



『“育ネットつなん”って何ですか？』 の質問にお答えして★★★



第3回保護者部会で、次のようなお話を伺うことができました。
 ○保育園父母の会会長として育ネットつなんの1年交替の保護者部会に所属しました。
 そこで、会長便りを出して、今年度の取組についてご理解、ご協力をいただくことにしました。
 ○そもそも育ネットつなんの中身は、部員になってみないとよく分かりませんでした。

育ネットつなんの役割を一言で表現すると・・・

津南町の子どもたちを健やかに育むために、町の子育て・教育の関係組織が力を合わせるができるよう、連携の仕方を工夫して取り組むことです。

連携して取組を進めるには、ツール（道具）が必要です。育ネットつなんのツールは、毎年各校・園・地域で取り組んでいる『共通実践事項と達成目標』です。

<各4部会の共通実践事項と達成目標>

<p>I 早寝早起き朝ごはん運動を推進する。</p> <p>① 毎月19日を「育の日（イクの日）」として、子育て・教育に関する実践と支援の強化を図る。</p> <p>② 食育とメディアコントロールを中核にした取組を工夫する。 (テレビ・ネットモラルも含む)</p>	<p>II 毎月10日を「あいさつの日」として、あいさつ運動を推進する。</p> <p>① 園と小学校、小・中学校間の連携を工夫する。</p> <p>② 町ぐるみのあいさつ運動を展開するために組織間の連携を工夫する。</p>	<p>III 郷土に誇りをもち、家庭や地域のために行動する活動を推進する。</p> <p>① 「家庭や地域の一員として役割を果たす子ども」を目指し、学校・家庭・地域の連携を工夫する。</p> <p>② キャリア教育とジオパーク関連活動をつなぐ取組を工夫する。</p>
---	---	--

育ネットつなんの組織は、<地域・保育園・学校・保護者>の4つの部会に分かれ、各部会メンバーが、上記の共通実践事項・達成目標毎に、今年度の具体的取組を決めて取組を行います。年3回の推進委員会で各取組の評価を行い、成果と課題を明らかにします。地域部会の活動の一つは、商工会と中学校が連携し中学校の職場体験活動を実施するための支援です。（育ネット広報前号の津南中学校博報賞受賞記事参照）

準備期間を含め6年目となる育ネットつなん。津南町の子育て・教育の関係組織の更なるネットワーク作りには、読者の皆様の興味関心が欠かせません。更にごうしたら？こんな取組をしてもらいたい等のご意見や感想をお寄せください。

★下表のアンケート回答者数を参考にして、
P.2～3の保護者アンケートをご覧ください。

各園・校のアンケート回答者数	
ひまわり保育園14人、北部保育園7人、上郷保育園10人、わかば保育園7人、 中津保育園5人、こばと保育園16人、上郷小36人、芦ヶ崎小38人、 津南小259人、津南中125人、津南中学校146人（以上6園、5校）	合計663人

⇒ 今回のアンケート結果から『わが家の約束』にある保護者部会3つのスローガンのうち、しっかり朝ごはんと「おはよう」のあいさつの達成率が園・小・中共に高かったことが特筆されます。